

|            |      |     |              |           |       |
|------------|------|-----|--------------|-----------|-------|
| 施策番号       | 221  | 施策名 | 農業の振興        | 令和5年度主管課名 | 産業観光課 |
| 総合計画<br>体系 | 政策名  | 2   | 地域経済を支える里づくり | 令和5年度課長名  | 小椋 正己 |
|            | 関係課名 |     | 建設課          | シート作成者    | 片田篤志  |

1. 施策の対象と意図の指標

| ① 施策の対象(誰、何が対象か)    |  | ③ 対象指標(対象の数・規模) |               | 単位  | 区分                       | 3年度           | 4年度    | 5年度    | 6年度    | 7年度    |
|---------------------|--|-----------------|---------------|-----|--------------------------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| ア 町内の農業従事者          | →  | ア               | 農業従事者数(販売農家)  | 人   | 見込値                      |               |        | 2,000  | 2,000  | 2,000  |
|                     |  |                 |               |     |                          | 実績値           | 2,078  | 2,078  | 2,078  |        |
| イ 農地                | →  | イ               | 経営耕地面積(販売農家)  | ha  | 見込値                      |               |        | 1,000  | 1,000  | 1,000  |
|                     |  |                 |               |     |                          | 実績値           | 1,074  | 1,074  | 1,074  |        |
| ウ 農家                | →  | ウ               | 総農家数          | 戸   | 見込値                      |               |        | 1,400  | 1,400  | 1,400  |
|                     |  |                 |               |     |                          | 実績値           | 1,418  | 1,418  | 1,418  |        |
| ② 施策の意図(対象をどうしたいのか) |  | ④ 成果指標(意図の達成度)  |               | 単位  | 区分                       | 3年度           | 4年度    | 5年度    | 6年度    | 7年度    |
| ア 農業を継続してもらう        | →  | ア               | 認定農業者数        | 経営体 | 目標値                      | 85            | 85     | 85     | 85     | 85     |
|                     |  |                 |               |     | 実績値                      | 81            | 86     | 84     |        |        |
|                     |  |                 |               |     | 達成率                      | 95.3%         | 101.2% | 98.8%  | 98.8%  | 98.8%  |
| イ 担い手の育成・確保         | →  | イ               | 新規就農者数        | 人   | 目標値                      | 3             | 3      | 3      | 3      | 3      |
|                     |  |                 |               |     | 実績値                      | 3             | 5      | 3      |        |        |
|                     |  |                 |               |     | 達成率                      | 100.0%        | 166.7% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| ウ 農地の保全             | →  | ウ               | 集落営農組織数       | 組織  | 目標値                      | 14            | 15     | 15     | 15     | 15     |
|                     |  |                 |               |     | 実績値                      | 14            | 13     | 13     |        |        |
|                     |  |                 |               |     | 達成率                      | 100.0%        | 86.7%  | 86.7%  | 86.7%  | 86.7%  |
| エ                   | →  | エ               | 農地集積面積(認定農業者) | ha  | 目標値                      | 460           | 470    | 480    | 490    | 500    |
|                     |  |                 |               |     | 実績値                      | 447           | 439    | 484    |        |        |
|                     |  |                 |               |     | 達成率                      | 97.2%         | 93.4%  | 100.8% | 98.8%  | 96.8%  |
| ⑤ 成果指標<br>設定の考え方    | 農業従事者の高齢化等による減少について、認定農業者や集落営農組織を「担い手」として位置づけ、農地集積面積を増やすことが耕作放棄地の減少に繋がる、また、新規就農者の確保が次代の農業・農村の活性化において重要であるため。 |                 |               |     | ⑥ 成果指標の<br>把握方法と<br>算定式等 | 産業観光課・農林業センサス |        |        |        |        |

2. 施策の役割分担

| 施策成果向上<br>に向けた<br>住民と行政との<br>役割分担 | ① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)  | ② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)  |
|-----------------------------------|--|--|
|                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民は健全な農地を保全し、生産活動を継続する。</li> <li>・集落営農組織や認定農業者は、農業の担い手として持続的農業生産に努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者(個人・組織)の生産活動に対する支援を行う。</li> <li>・長期展望に立った農業政策の展開について、国、県へ要望していく。</li> </ul> |

3. 評価結果

| 5年度<br>の<br>評価結果  | 1. 施策の成果水準とその背景・要因 |  |
|---|--------------------|--|
|   | 5年度<br>の<br>評価結果   | <p>① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)</p> <p>認定農業者は目標に対し98.8%と減少した。新規就農者は農家の世代交代を中心にコンスタントに確保しており目標どおり3名の確保ができた。集落営農組織は現状維持となっている。農地集積面積は目標に対し100.8%と達成でき、認定農業者の集積が行えた。今後、高齢化による耕作放棄地の増加が予想されることから、農地集積のピッチを上げる必要がある。ウは目標値を達成していないが、ア・イの成果指標の重要度が高いため、「目標どおり」を選択した。</p> <p>② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)</p> <p>認定農業者については、前年対比で2経営体減の84経営体となったが、第三セクターが統合したため。(未来奥津、ファーム登美、夢アグリ鏡野)また、新規就農者は3名となっている。集落営農組織については、昨年同様13組織であり、うち法人も昨年同様の7組織。認定農業者等への集積面積は484haであり担い手への利用集積が増となった。小規模の個人経営体の経営継続が困難になっている。高齢化や農業機械の金額の高騰により離農者が増えていると考えられるが、数値が前年度と変わらないため「ほとんど変わらない」を選択した。</p> <p>③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度末の鏡野町の認定農業者数は84経営体であり、近隣市町村の認定農業者数は、津山市172経営体、美咲町59経営体、久米南町51経営体である。このうち立地条件・耕地面積等が同規模である美咲町の令和4年度から令和5年度の増減数の合計が10経営体の減であるのに対し、2団体の減であり、その原因も未来奥津、ファーム登美、夢アグリ鏡野の合併によるものであり、実質的に減少していないため、「高い水準」を選択した。</li> </ul> |
| 2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など   |                    |  |
| <p>過疎化、高齢化の進行により、集落機能が失われつつあり、農業分野においては離農・後継者不足により農地維持が困難となっている。解決方策として、新規就農者や農地・農作業を受託する認定農業者、集落営農組織への期待は依然高く、対策や支援についても要望が多いが、国県町の補助事業で農地集積に誘導しているが、規模拡大を条件としたものが多く、機械等の更新が困難となっている。また近年は鳥獣害が多く発生している、シカ被害が多くなっており対策の要望も増加しているため、防護柵や有害鳥獣駆除に対する補助事業の充実を図っている。</p>   |                    |  |
| 3. 施策の振り返りと総括(5年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)  |                    |  |
| <p>① 施策の成果向上につながった主な事務事業</p> <p>② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業</p> <p>③ 施策全体の振り返りと総括</p> <p>① 鏡野町農業振興センター事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三セクターの夢アグリ鏡野については、新事務所の用地を確保し、大豆用汎用コンバインの購入支援を行った。今後、農業者の高齢化により耕作が出来ない農地の引き受けや、水稲だけでなく、儲かる作物を検討する必要があり、引き続き支援を行う。</li> </ul> <p>② 新規就農の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町独自の補助金として3年間で100万の補助事業をおこなっており、就業開始時期の所得が少ない就農者を支援している。その効果もあり世代交代だけでなく新規就農者を3名確保することができた。</li> </ul> <p>③ 農業の高付加価値化と耕作放棄地の増加防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の高付加価値化については産地パワーアップ事業によりプロド生産者の支援を行った。耕作放棄地の防止については、農地利用最適化推進委員会による見回りや、農地中間管理制度を活用した認定農業者などへの農地集約を推進した。利用権設定促進事業により新たに農地集積を行った認定農業者へ対し22件の補助金の支払いを行った。</li> </ul> <p>④ スマート農業の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢アグリ鏡野ヘドローンの整備を行い、農作業の軽減に繋げた。</li> </ul> <p>全体として、成果に繋がっているが、高齢化等による離農者が増加したと考えられ、農地を維持保全していくのが、今後の課題である。</p> |                    |  |
| 4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)  |                    |  |
| <p>① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業</p> <p>② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向</p> <p>高齢化により農業をリタイアする農家が今後増えてくるため、夢アグリ鏡野が受け皿となるよう体制強化を行っていく。また、認定農業者や集落営農組織が今後中心となってくる。そのため町としても引き続き規模拡大の補助を行い、農業機械の更新補助についても、県や国に要望していく。スマート農業については、夢アグリ鏡野が中心となり、ドローンを使った農業散布などを行い、農作業の軽減を今後も図っていく。鳥獣被害については、防護と駆除の両面から引き続き被害拡大防止策を進める。令和6年度以降引き続き行う。6次産業化の取り組みとして、岡山市で2か月1度開催されるOKAYAMAつながる市に事業者の参加を斡旋した。今後も事業に取り組む方が販路を確保できるように各種イベントへの参加を支援する。また、鏡野町の多くが中山間地であり、今後も適切な農業生産活動が継続的に行われるよう中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金事業を有効に活用し、農地の維持を継続していく。</p>   |                    |  |